

I D 問答～新たに始まった、我(ら?)が精神の放浪?!～

作：I & D

②⑤ それぞれの「日常」にある? 「ビッフォー-before」「ウィズ with」「アフター-after」?!

I：あの東日本大震災から10年、これに関わるニュース、ドラマ、ドキュメンタリー番組が続きましたが、本当に大変なことが起きていたものですね! 様々なもの、事が、改めて知らされるわけですが、何とも複雑で、それについて、ここで問答するのも、ほとんど憚られますよね?!

D：確かにね! 新型コロナウイルス関係のものも、相変わらず毎日のように流れていますが、いわゆる「日常」が、今の、まさにこのようなことであれば、それこそ問答する気にもなれませんよね? ある意味「溜息?」ばかりで(単発的には、嬉しいことや感動もあります!)、こちらの方からは、何も言葉を発する気にならない? 否、発してはいけない? そうも、思ったりもしますよね?!

I：そういう意味で、直接の被害・災難に遭われた方達、今も大変な毎日を送っている方達、この間のコロナ関係もそうなのですが、そういう方達と、幸いにも? そういう被害・災難に遭っていない私(達)の「日常」とは、一体何なのでしょうね? 物理的には、同じ日々、同じ時の流れの中で生きているわけですが、そこにある意味とか、価値(重み?)とかが、あまりにも違い過ぎる?!

D：そんなことを言われると、流石に、言葉に窮してしまいますが、もちろんそこには、それぞれの「日常」が、同じようにあることはあるのだと思います! ただ、違いがあるとすれば、そこに、「ビッフォー-before」「ウィズ with」「アフター-after」という、一連の、生活の前後関係の感覚があるのかどうか?! つまり、そこに、その人の人生を大きく左右している「事」が、明確に(重く?)意識されているのかどうか?! そういうことであろうと思います?!

I：それが、10年前の「東日本大震災」とか、今般の「コロナ禍」での被害・災難等の「事」ということですね?! その「事」が、一つの起点となって、その人の、その後の「ビッフォー・ウィズ・アフター」を成している?! そして、そこに、その人の「特別な日常?」が流れている?!

D：不謹慎な言い方になりますが、まさにそういうことかと思えます! ただし、それは、個人レベル(私的生活)での話であって、社会全体のレベル(公共)での話ではありません?! ここで私が言っていることは、あくまでも、その個人レベル(私的生活)での話ですから、当然、そこはそこで、押さえておかなければいけません! だから、他人には、何とも言えない?! そういうことでもあります?!

I：それは、具体的には、どういうことですか? ある人が、ある何かのために、今を生きている? ある事のせいで、ある人の今の日常がある? 復興とか、回復とか、そういうことにつながっていく部分かとは思われますが、そこに、その人の新たな生きる意味や目標が生まれている(だから強い?)?!

D：要は、そこに、(無理矢理ですが?) 明確な「ビッフォー・ウィズ・アフター」の物語がある?! 言い換えれば、過去・現在・未来という時の流れが、その人の、一つの大きな、そして力強い生活軸となっている?! 響きを買うかもしれませんが、そうでない人には、それが無い? 単なる、平板な時の流れとなっている? そこが、切なくもあり、羨ましくもある?! そういうことです!

I：とは言っても、大なり小なり、そういうことは、みんなもっている?! 「ウィズ・コロナ」、「アフター・コロナ」とか言わないまでも、それらは、多種多様にある(それが人生?)?! しかし、如何せん、その「ビッフォー・ウィズ・アフター」の意味(重み?)が違う?! そういうことですね?!

D：言いたいことは、人生を強く生きている人には、確かな起点がある! たとえそれが悲しい「事」であっても(否、だからこそ?)、そこに、その人の現在、そして未来が意識される(ただ過ぎ去っているのではない!)?! 失くしたものを茫然と見ていくわけにはいかない?! 苦労してでも、もう一度手に入れなければいけない?! そんな「起点」となる「事」を、切なくも有している?! 余計なことであるが、そうでなければ、それらは、単なる「老いの喪失」と同じになってしまう?! (つづく)